

本報は、何物かを感得し、把握したかき存じます。小生の見たる處では、さすが香檳樂の青年何等女々しき振舞なく、將來頼も

内郷村報の 六大使命

- 一、政黨政黨を超越して、村力充實主義を標榜す。
- 二、村内外公私各種機關の活動状況を報導し併せて其協調を計り、總體和進努力の實現を期す。
- 三、本村社會事業の徹底を期す。
- 四、村内の警備善行を表彰し、且之を奨励す。
- 五、本村と本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、餘餘力を以て、國民啓蒙に當る。

内郷村報

天法人則
從順ナ
ルベシ

肉體の攝養

附「營養讀本」紹介

大内民恵

人間が此世の中に、生きて行く上に於て、何人でも、其自己の職業に關する知識以外に、精神的方面に於ては、何を措いても、倫理道徳、法制經濟、宗教、教育(子孫教養の爲に)等、又肉體的方面に於ては、生理衛生營養等の、知識を修得して、之を應用實行して、心身共に、健全に維持して、其天壽を全うし、天賦の能力を充分に發揮して、生き甲斐ある生活をなすべきである。思はれるのである。記者は年來、そうした見地から、精神的方面には、力相應相當讀書もし、研鑽もして、大過なきを期して來たのであるが、たゞ肉體的方面に關しては、全然閑却し來たり、老來始めて氣がついた様な次第である。

三十余年前明治時代に、中等教育程度の、生理學、衛生學を教はつた丈で、今日に到つたものであつて、今更の如く、我肉體に對しては、眞に相濟まなかつた事(しみん)考へさせられ、よくも今日迄生き永らへて來たものである。思はれるのである。カロリー、ビタミン、ホルモン等々について、云々せられる様になつたのは、こゝ二十年來最近の事に屬し我々の如きは、此等の知識に關しては、たゞ新聞雜誌等によつて、些かに斷片的に、其一端を知るに過ぎないものであつて、従つてこれを我等の日常生活上、肉體攝養上に、如何に取扱ひ、如何に應用すべきか等の事に到つては、更に何等の根

據をつかむ事が出来なかつたのである。然るに最近、鈴木梅太郎、井上兼雄兩氏著「營養讀本」を一讀するに及んで、此等一切問題の大要を會得すると同時に、一般國民が之に準據して生活する事によつて、國民各々の健康を増進するは勿論、國力の充實發展の、根元ともなる事と痛切に感ぜられたのである。著者は其序文に

我民族が世界に雄飛するに、もつと大きく丈夫にならなければならない。然るに最近壯丁の體格は益々低下しつゝある。云々云々。誠心細心の状態である。他の文明國に比して幼児死亡率が高、結核で斃れるものが多く、さうして平均年齢が低い。云々。實に寒心すべき事實であり又我國の耻辱でもある。これが對策としては營養の知識を普及せしめ食事の改善を計ることが最も緊要である。吾々がどうして生きて居るか、又どうしたら健康を保ち天賦の能力を充分に發揮する事が出来るか、云々云々は人生最大の問題である。拘らず、これを考慮するものが存外少なく、寧ろ食物などに頼着しないことを誇りとして居るものが多し。これは遺憾の至りである。吾々の生活費中食費は約半分を占めて居るが、これを合理化する。否、國民の消費經濟に重大な關係がある。斯様な見地から近頃一部の人の間に漸く營養問題に關心を持つ様

探炭夫募集

- 一、各坑を通じて數百名募集す
 - 二、十六歳以上四十歳以下、身体検査人物考査の上採用す
 - 三、紹介者には薄謝贈呈の規定あり
- 昭和十一年八月

磐城炭礦々業所

- 第八 養分の吸収と利用
第九 食物の消化率とは何か
第十 保健食量
第十一 食物選擇の心得
- 第一編 食物編
第一 植物性の食物
第二 動物性の食品
第三 調味料及香辛料
第四 嗜好品
第五 嗜好品
- 附 録
食物養分含量表
食物灰分含量表
食物ビタミン含有量表
食物アスカリ度表
重要收穫時期一覽表
重要魚類季節一覽表
- 以上の通りであつて、各章

今や非常時！
且つ時は時オリンピック大會に出場せる我選手諸君の體格が、世界各國の選手に比して、如何に貧弱なるかを痛感して悲憤せらるゝ今日！我等の肉體攝養問題が、國運の消長に一大影響ある事を、深く念頭に置いて、かうした好著の出現を好機として、そうした方面に向つても、一大運動を開始すると同時に、國民各自が、一刻の猶豫もなく、之が實行を期すべきものであると、痛切に考へらるゝのである。

營養讀本、日本評論社發行。定價金壹圓。

本報發行は大内一家の事業にして、其の社説は子孫に對する遺言を兼ねるものなり。

本報發行所
大内民恵
平活版所

本報發行所
大内民恵
平活版所

内郷村 方面助成會

本村方面事業助成會は、昭和三年四月、野木村長時代に、四家又市氏及記者が、福島縣共濟委員(昭和八年方面委員と改稱)の任命をうけた當時に、其創立の機運をつくり、昭和五年十二月、照沼主事の臨席を仰ぎ其發會式(當時は内郷村共濟會と稱す)を擧げ、全村各戸白米一升の會費を徴する規則の下に、其活動を開始したのであるが、昭和八年、方面委員が職員せられて十三人に區劃し、各委員が之を分擔して、其事業にあたり、各區長を支部長に村會議員を評議員に、有力家を贊助員に推薦して、應援を乞ひ、日を追ふて秩序も立ち、相當の成績を擧げて、今日に到つたものである。昨年度に於いては、別項齊藤理事の報告の如き成績を擧げるに到つたのである。創立當時を思へば、真に隔世の感ありである。されど今後なすべき仕事は澤山にあるので、一般村民各位に對して、更に一段の協賛が願はしい次第である

昭和拾内郷村方面助成會收支決算表

収入之部	
一金五百五拾七圓四拾四錢	寄附補助金
一金六拾八圓	縣補助金
一金壹圓七拾參錢	貯金利息
一金參百貳拾參圓六拾七錢	前年度ヨリ繰越
合計金九百五拾圓八拾四錢	
支出之部	
一金壹百貳拾圓四拾四錢	年末救恤金
一金五拾圓七拾壹錢	一時救助費
一金壹百圓	結核療養所建設補助
一金拾五圓	託兒所補助
一金壹百圓	視察費
一金貳拾七圓八拾錢	雜費
一金壹百參拾圓拾七錢	現金貯蓄
一金四百六圓七拾六錢	郵便貯蓄
合計金九百五拾八圓八拾四錢	

昭和十一年七月二十日 内郷村方面助成會理事 齋藤 彌一

方面委員視察

本村方面委員は、炭礦從業員の生活、一般農村の實情等に鑑みて、將來隣保館建設の必要ある事を認め、之が参考にもと、七月十九日

郡方面評議員會

本村方面委員江名隣保館視察の當日十九日午後より、小名濱町役場に、同會が開會せられたので、本村より、評議員大内民惠出席、縣下方面委員講習會準備に關する協議に參した。

校舎の狹隘

本村に於ては、磐城炭礦を始め、村内各炭礦の好況から、本年度就學兒童三百六十名に達し、第一、二の尋常校、高坂尋常高等校何れも職員室及裁縫室を開放して、之にあてたるも、尙一學級平均八十二名を算する状態にて、取り敢へず十二學級を容れる教室の増築を要する次第なるも、昨年度に於ては、その事とて、當局に於ては、それら其對策を講究中である。

平自營會評議員會

免因保護事業の同會へは、本村より沼田濱之助、加藤

方面事業取扱數

七月に於ける方面委員の取扱ひたる件數は左の通りである。生活扶助、法令に依るもの、二七。兒童保護、法令に依らざるもの、三八。相談指導、二三。戸籍整理

教育制度改革概論

矢野 恒太序 大内民惠著 鹿野字之吉 編輯 (四六版二二頁 定價五十錢 郵税六錢)

馨炭 親和會 世話役の清遊

第二班(町田綴班)第一班二日より一週間、毎日午後

我國教育學界の權威

前京大總長小西重直博士 吾を寄せて曰く、多年ノ御體験ト實地ノ御試驗ニ基ク真摯愛國ノ大精神ヲ拜

日本評論社

發行所 日本評論社 東京橋本三丁目 取次所 内郷村報社

丈夫、大内民惠の三名が評議員に推薦せられて居るのであるが、其第一回評議員會は、七月十五日平警察署會堂に於て開會せられたので、本村より大内委員之に出席して、自營會振興對策保護思想普及方法、司法保護記念日に對する良策等につきて協議に預つた。

八月十六日鯉川遊記 納涼舟まかなひ舟をさもなる 滿潮や岸の上ゆく納涼舟 遊舟を着けたる浦は榮りかな 船宿の走り使はみな跳足 遊船に呼ばれて來たる藝者かな 舟着場まで飛石や夏籠 遊船に植田藝者の來りけり 釣舟を除けて遊船通りけり 艇ヶ家は遊藝の宿ともなりけり

句集 雜詠 十句以内 住所氏名稱 題 雜詠 縮切毎月十日 送者 石田修二 江連半仙 高木撫山 撰句集は毎月一回發行 出句者のみに配付 事務所宮澤社宅高木撫山宅 以上

本紙贊助金寄附芳名 金壹圓 二本松 崎田直昌 金貳圓 桶 賣山崎 哲雄 金壹圓 内 郷秋 芳 會 金五圓 雙 葉 志 賀 保

を來賓に迎へ、有志七十余名出席、盛大なる祝賀會を舉行した。

の光を浴びながら、總員五十一名、綴班をたつて五ツ六ツの驛をすぎ、八時半頃目的の山海館についた。浪

海苔巻の畫辨當に舌鼓をうつあたり、得も言はれないものがある。箱入娘の顔の桃色に焦けたのも、海水浴

方面事業取扱數

七月に於ける方面委員の取

世帯三、人口一一。第一種、世帯七九、人口三六五。カード除去、生活安定世帯一、人口五。以上。

教育制度改革概論

矢野 恒太序 大内民憲著

(四六版二二頁 定價五十錢 郵税六錢)

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理と實際と、歴史と實驗とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同攻撃に違あらす。味は未だ一人の抗議者も現はれず。

發行所 日本評論社 東京京橋三丁目

取次所 内郷村報社

磐炭 世話役の清遊

第二班(町田綴班)第一班住吉班は七月三十日)四十二名は、八月二日午前八時半、淺野翁頌徳記念館前に集合、午前九時發列車にて上原主任引率の下に、磯原町天妃山に清遊を試みた。恒例とは云へ、例年の型を破り、家庭的に行はれ、しかも勞務者の中堅をなす、模範従業員なるが故に、態度と云ひ、規律と云ひ、其統制訓練は、眞に敬服すべきものであつた。本日は特に、會田病院長、長谷川、三澤、前川の各坑長、茅根技師石橋主任の諸氏も参加せられ、宴會席上それら十川番の披露あり、稀に見る盛況を呈し、予定通り午後六時四十九分綴班に歸着記念館前にて解散した。

(勞務松浦談)

甲種合格

本年度徴兵適齡検査の結果甲種に合格したるは、本籍者二十一(受験者八十七名)寄留者二十二(受験者三十二名)計五十三名であつた。抽籤は十月上旬である。

縣道編入祝賀

綴より高野に至る道路が、各方面の盡力によつて、縣道に編入せられたるを以て八月四日內郷館に於て、小林土木監督所長、各縣議等

簡閱点呼

本年度本村の簡閱点呼は、八月十二日(寄留者)同十三日の兩日にわたり、高坂校々庭に於て行はれ、人員三百七十余名、其成績は頗る良好であつた。

平自營會評議員會

免因保護事業の同會へは、本村より沼田濱之助、加藤

我國教育學界の權威

前京大總長小西重直博士

寄を寄せて曰く、多年ノ御體験ト實地ノ御試驗ニ基ク真摯愛國ノ大精神ヲ拜味仕リ不感敬慕ニ打テ申候云々。

武藤選手甲子園へ

住吉坑勞務擔任武藤義造氏の令息、磐中生義朗君は、來る二十六、七の兩日、甲子園の全國中學校選手權大會に、三段跳(十四米〇七)走幅跳(六米二〇)の選手として、名譽の出場をする事となつた。

草刈部長轉任

綴派出所部長として、在勤四年信賴厚かつた、草刈長三郎氏は、平署勤務に榮轉し後任として、爪生新六氏が其平署より來任した。

内郷校同窓會

八月九日午前九時より、總會開會、盛會であつた。お断り、生活改善及秋芳會記事は、余白なきを以て次號に掲載する事とした。

高坂女子青年會

會長 武藤義造 記

また今日も煎られるのかと朝の涼しい陽を仰いでても気が重い。此暑さをどこに避けやう、小名濱にするか、

海浴

四倉にするか、いや磯原の朝の七時半といふに、焦けつくやうな暑さだ。強い陽

日本評論社

東京京橋三丁目

發行所 日本評論社

取次所 内郷村報社

磯原の清遊

(親和會世話役)

高木 撫山

香等の偉容を町人に示しつゝ、宿舎磯原館へ着いたのは十時であつた。早速裸となつて飛び出して行く氣の早い者もある。十一時簡單な晝食をとり、約二時間を自由散策する事になつた。

離まで波の來て居る夏館。天妃山より夏茶店かな。炭礦の騒音の中に暮す吾等には、太平洋のオンパレードによつて、七十五日百百年の壽命を與へられた様な氣がする。

午後二時、階下大廣間に於て上原主任の御挨拶あり、それより宴會に移る。磯原一流の美形の酌や踊の歡待に、十二分の歡を盡し、四時磐炭炭三唱に四邊をゆるがして閉會。五時二十三分磯原發列車に乗じ歸路につく。

沈む日に明るき花の愛陀羅華。往く時に氣づくや合歡の花。六時六分綴班着、記念館前にて磐炭炭三唱して目出度解散したのが午後六時十五分であつた。湯の嶽の肩に日はあり雲の峯

磯原の清遊

の光を浴びながら、總員五十一名、綴班をたつて五ツ六ツの驛をすぎ、八時半頃目的の山海館についた。浪は高いが、水はすんで飽く迄あをく、遠く水平線上の一点は、鯉船の漁に行くのではあるまいか。段々影はうすれて、遂々見えなくなつて仕舞つた。凸凹の磯が多く、泳ぐに恰好の所はな

い、遊びには面白い。漸く遊び疲れた頃、新しい刺身で、連れる人も連れる人も、一間に集まつて、

磯原の清遊

海苔巻の晝辨當に吾鼓をうつあたり、得も言はれないものがある。箱入娘の顔の桃色に焦けたのも、海水浴しやから、一つの事故もな

く面白かつた磯原をあことに一筋の煙に名残を惜しんで歸路につき、語りつ、笑ひつ、時のたつのも忘れて、六時五分綴班につき、磯原所前で解散。疲れた脚を引

きすりながら、黄昏近く家路についた。木の間に日は暮らしの聲も聞こえて居た

磯原の清遊

青葉の香も重き、七月廿日午前八時廿分、上原主任外係員十八名、住吉坑管内親和會世話役二十八名、淺野記念館前に集合、九時六分綴班發列車に乗車、湯本泉と次々に變る景色に打ち興じながら青田風情にして窓に付つ海近き青田の中の泉驛。バス埃りあげて青田に道はありいつしか植田も過ぎて

鮫川に添ふたる村の夏祭の權化人箱工場は眼前に現れた。數本の大小煙突より上る煙の、根元をなす燃料が、吾等の手よりと思ひば、産業人の偉大なるを、自ら切實に感ずる事が出来る。眼の前に夏海あり勿來驛もすぎ、右に勿來の關跡を見上げ左に九浦の鮑舟が、木の葉の如く浮ぶを見れば、汽笛一聲トネルを出れば、吾等は既に茨城縣へ一步を印したのである。

南風や多賀の大津は漁師町を見送る。問もなく汽車は俗望の磯原へ着いたのである。

磯原の清遊

香等の偉容を町人に示しつゝ、宿舎磯原館へ着いたのは十時であつた。早速裸となつて飛び出して行く氣の早い者もある。十一時簡單な晝食をとり、約二時間を自由散策する事になつた。

離まで波の來て居る夏館。天妃山より夏茶店かな。炭礦の騒音の中に暮す吾等には、太平洋のオンパレードによつて、七十五日百百年の壽命を與へられた様な氣がする。

午後二時、階下大廣間に於て上原主任の御挨拶あり、それより宴會に移る。磯原一流の美形の酌や踊の歡待に、十二分の歡を盡し、四時磐炭炭三唱に四邊をゆるがして閉會。五時二十三分磯原發列車に乗じ歸路につく。

沈む日に明るき花の愛陀羅華。往く時に氣づくや合歡の花。六時六分綴班着、記念館前にて磐炭炭三唱して目出度解散したのが午後六時十五分であつた。湯の嶽の肩に日はあり雲の峯

磯原の清遊

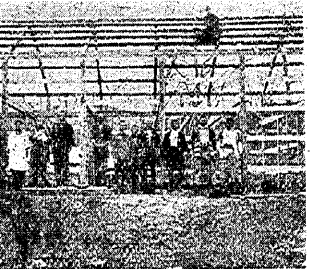
の光を浴びながら、總員五十一名、綴班をたつて五ツ六ツの驛をすぎ、八時半頃目的の山海館についた。浪は高いが、水はすんで飽く迄あをく、遠く水平線上の一点は、鯉船の漁に行くのではあるまいか。段々影はうすれて、遂々見えなくなつて仕舞つた。凸凹の磯が多く、泳ぐに恰好の所はな

い、遊びには面白い。漸く遊び疲れた頃、新しい刺身で、連れる人も連れる人も、一間に集まつて、

開拓記 錄 大内一き 郎

北海道十勝國上川郡 清水町清水山莊

拜復 先日は御手紙さ、大合理炊 事法御送り下さいまして、誠に有 難う御座いました。有益で又興味 あるものと思ひました。其炊事器 を送つて下さる日を、楽しみにい たして居ります。二郎公へのお便 りに、お父さん御自身で、炊事の 實驗をされたそうで、仲々大變で 御座います。しかし御達者なる事 が伺はれて、大慶至極で御座いま



畜舎の棟上 (五月十三日)

す。十三日午前中、上田英雄君(記者が幸慶の篤農家遠藤大三郎氏に、實習生としてお世話した、杉田出身の青年)見學の爲め來莊したので、早速馬車道ひから始め、午後は新墾地のハロー、播種等をやらせ、十四日は午前中、木の根掘り、圃場整理、プラオ等をやらせ、大いに信雄君の元氣のよい所を見せ、又大いに杉田の爲にも、粉骨精身精進せよと、督勵いたしました。何物かを感得し、把握いたしたかき存じます。小生の見たる處では、さすが吾黨の青年何等女々しき振舞なく、將來頼も

しきもの、様には思はれました。只遠藤氏としては、從來奉公人は大勢つかつた事はあるが、實習生の如きものを内地より入れた事は、始めての事なので、取扱上多少遠慮されて居られるのではないかと存じ、其点をよく本人にも注意し、時には拳骨のお慈悲を加へ、立派な百姓に鍛へ上げて下さる様に、遠藤さんの方へ申上げました。此位にしてあげれば、遠藤さんと思ひのまに、仕込む事が出来るかき存じます。



播種 (六月二十二日) 信雄 郎一 一き 郎

昨日(十六日)母上の應援を得て遂に新墾地の一區劃に、稻黍大豆の播種を終了いたしました。本日から午前中、プラオ、午後除草といふ豫定ですが、昨夜來の雨、未だ降りやまず、今空模様をうかがつて居る處です。今や山莊は超非常時、目に見える仕事は、次から次へ出て來ます。何葉!と大い頑張つて居ります。

昨日(十六日)母上の應援を得て遂に新墾地の一區劃に、稻黍大豆の播種を終了いたしました。本日から午前中、プラオ、午後除草といふ豫定ですが、昨夜來の雨、未だ降りやまず、今空模様をうかがつて居る處です。今や山莊は超非常時、目に見える仕事は、次から次へ出て來ます。何葉!と大い頑張つて居ります。

二 郎公の足、杉本醫師の診斷をうけて、冷し薬を買つて來て、毎日つけて居ります。之にはどうも弱りました。致し方なく充分に手當することにいたしました。其ひまには、差支ない範圍に於て、ホリの柄をすげたり、便所の紙をきつたり、或は新聞の切り抜き、馬具の手入、炊事研究等をやられる様に、又自分で仕事を身つけてやる様に申しとおきました。

昨日(十六日)母上の應援を得て遂に新墾地の一區劃に、稻黍大豆の播種を終了いたしました。本日から午前中、プラオ、午後除草といふ豫定ですが、昨夜來の雨、未だ降りやまず、今空模様をうかがつて居る處です。今や山莊は超非常時、目に見える仕事は、次から次へ出て來ます。何葉!と大い頑張つて居ります。

昨日(十六日)母上の應援を得て遂に新墾地の一區劃に、稻黍大豆の播種を終了いたしました。本日から午前中、プラオ、午後除草といふ豫定ですが、昨夜來の雨、未だ降りやまず、今空模様をうかがつて居る處です。今や山莊は超非常時、目に見える仕事は、次から次へ出て來ます。何葉!と大い頑張つて居ります。

昨日(十六日)母上の應援を得て遂に新墾地の一區劃に、稻黍大豆の播種を終了いたしました。本日から午前中、プラオ、午後除草といふ豫定ですが、昨夜來の雨、未だ降りやまず、今空模様をうかがつて居る處です。今や山莊は超非常時、目に見える仕事は、次から次へ出て來ます。何葉!と大い頑張つて居ります。

昨日(十六日)母上の應援を得て遂に新墾地の一區劃に、稻黍大豆の播種を終了いたしました。本日から午前中、プラオ、午後除草といふ豫定ですが、昨夜來の雨、未だ降りやまず、今空模様をうかがつて居る處です。今や山莊は超非常時、目に見える仕事は、次から次へ出て來ます。何葉!と大い頑張つて居ります。

昨日(十六日)母上の應援を得て遂に新墾地の一區劃に、稻黍大豆の播種を終了いたしました。本日から午前中、プラオ、午後除草といふ豫定ですが、昨夜來の雨、未だ降りやまず、今空模様をうかがつて居る處です。今や山莊は超非常時、目に見える仕事は、次から次へ出て來ます。何葉!と大い頑張つて居ります。

昨日(十六日)母上の應援を得て遂に新墾地の一區劃に、稻黍大豆の播種を終了いたしました。本日から午前中、プラオ、午後除草といふ豫定ですが、昨夜來の雨、未だ降りやまず、今空模様をうかがつて居る處です。今や山莊は超非常時、目に見える仕事は、次から次へ出て來ます。何葉!と大い頑張つて居ります。

内郷村報の 六大使命

一、政策推進を期して、村力充實主義を標榜す。
二、村内公私各種機関の活動状況を報導し、併せて其協調を計り、進規和進努力の實現を期す。
三、本村社会事業の徹底を期す。

四、村内の慈善事業を奨励し、且之を奨励す。
五、本村と本村出身者及本村関係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
六、資金力を以て、國民慈善に當る。

本紙發行は内郷一家の事業にして、其の社説は子孫に對する遺言を兼ねるものなり。

本紙發行は内郷一家の事業にして、其の社説は子孫に對する遺言を兼ねるものなり。

内郷村報 天法人則 從順ナ

據をつかむ事が出来なかつたのである。然るに最近、鈴木梅太郎、井上兼雄兩氏著「營養讀本」を一讀する

にはなつたのであるが、更に廣く國民にこれを徹せしめなければならぬ。云々

をそれく、各項目に分けて我々素人が讀んでも、よく解る様に、細大洩らさず、親切に説明してあるのであ

本紙發行は内郷一家の事業にして、其の社説は子孫に對する遺言を兼ねるものなり。